

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町6-1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924

会員相互の親睦を図り 教職員との交流の場を



北辰会会長

長野 正景

後輩へ充実した
学生生活を求めて

昨年五月二十三日北辰会定期総会に於いて選出されました新三役十名は、早速六月一日第一回三役会議を開催致しました。

前回の北辰会報に掲載致しました通り、任務分担任に任ぜられ、任務遂行を円滑にするための、勉強会を中心に毎月月初旬に三役会議を精力的に開催を致して参りました。

その間、年間諸行事の開催・学校行事への積極的参加と支援・『ものづくり』コンテスト全国大会出場を始め、各運動部全国大会出場への支援等々行つて参りました。

全国の同窓生の方々から寄せられた貴重な浄財を、如何に有効活用出来るかを、常に議論しながら積極支援を展開して参りました。

一学年定数削減
二四〇名が二〇〇名に

小倉工業・戸畑工業・八幡工業の三工業高校は、少子化の荒波の中で定数削減を余儀無くされました。資源のない国、日本における工業技術は更なる高度な『ものづくり』を追求

しなければなりません。そのためには工業高校教育の質的向上を求められていいます。『設備の充実』『指導者の向上』『学生の意欲』この三点を活動の柱として、北辰会総会終了後ただちに、福岡工業高校同窓会長・石井金蔵氏から提案をされた、福岡県に於ける工業高校同窓会連絡会(仮称)を立ち上げ、県政に対して工業教育に向けての、予算充実に、指導者の質的向上を求めて、具体的な施策を要求して参りたいと考えます。

北辰会会館
一階のリニューアル

創立記念百周年行事以降、倉庫化してしまつた北辰会館一階の件で学校当局へ相談を致しましたところ、快く原参事事務局長を中心にリニューアル計画を提案して下さいました。同窓生・教職員・教職員OB・父母会・地域に開かれた交流・憩いの場として積極的に活用して参りたいと考えます。

ゆくゆくはパソコン教室でも作ればと……皆様の提案を事務局または北辰会役員までにお待ち申し上げております。

「日本一の 工業高校を創ろう」



保健体育科

中村 達志

今年の人事異動で懐かし小倉工業高校に三年ぶりに戻りました。校門をくぐり一番目に目に入ったのは「倉工生 志を高く持て」という掲げ物でした。まさに「高き志や大きな夢をしつかり受け止め、実現に向けて努力をしなければ……」と、その責任の大きさを痛感しました。

は、まさに千載一遇のチャンス(追い風)と考えます。なぜならば戦後五十年の教育の中で形成された知識偏重社会が崩壊し、これからの時代は「自分が出来るのか?・私はこれが出来るのか?とアピールできる人材が求められる時代が到来しつつあるのです。まさに資格や技術の習得、部活動やものづくり等の体験的教育から育てられる体力や創造力等、本校教育の中で育まれるものはとても大きいと思います。

学校長からは、校訓は勿論、創立百周年のテーマであった「日本一の工業高校を創ろう」を本校教育の中心に位置づけていると伺いました。工業高校の特性を生かし、様々な分野で「日本一」を目指す気運を校内に高めていくことが大切であると思ひます。無限の可能性を秘めた生徒を主役として、一人ひとりの個性や特徴を引き出し、そして伸ばすことが出来たらならば、必ず目標は達成できると確信します。

さて、社会の仕組みや構造が大きく変わろうとする中で、工業高校の立場(統合や学科再編)も例外ではありません。しかし、私はこの現象は本校にとって

北辰会入会式

二二六名が入会
卒業生は二〇、一四二名に

平成十六年度の北辰会入会式が二月二十八日に母校体育館で行われました。長野正景北辰会会長、二見八男中学校長を始め北辰会役員、関東、近畿支部代表、教職員のご列席をいただき、新入会員二二六名が式典に臨みました。

長野会長から歓迎と今後の活躍を期待する挨拶を受け、二見校長からは「社会人として立派に責任を果たして下さい」との激励の挨拶がありました。



新人会代表の加藤佑季君より長野会長に入会金目録が手渡され、会長からは二反田真君へ北辰会名簿が手渡されました。最後にクラス別幹事が紹介され、代表して小野泰輔君が、「北辰会に入会するに当たり、会員として努力していきま

平成17年度 北辰会総会

本年度の北辰会総会は下記の通り開催します。

- ◆日時 平成17年5月22日(日)
 - ・受付 14:00より
 - ・総会 15:00より
 - ・懇親会 16:00より
- ◆場所 ウェルシティ小倉(旧 厚生年金会館)
 - 北九州市小倉北区大手町12-3
 - TEL 093-592-5401
- ◆会費 5,000円

※交通手段 JR小倉駅バスセンター「6番のりば」から「100円周遊バス」に乗車。
(内回り) 魚町・西小倉駅経由 } いずれも
(外回り) 平和通り・医療センター経由 } 「厚生年金会館前」下車。

会費納入及び 教育振興基金納入の お願い

同窓会「北辰会」が、健全な活動を維持していく礎は年額二千円の北辰会費です。

北辰会事務局は、今後とも会員各位へのサービスを向上させ、母校の発展のために努力を重ね、事務の効率化と経費節減に努めて行く所存です。

北辰会の健全な活動の基本であります「年会費」の納入を宜しくお願い申し上げます。

また、母校生徒の就学、部活動に対する支援の為の教育振興基金にご理解賜りご協力下さいますよう、併せてお願い申し上げます。

部活動だより

◆野球部

ここ十数年来の最強の戦力と思われず。五月十四日からNHK旗福岡県選抜大会が行われます。(於小郡市野球場、久留米球場)初戦は十四日に、昨年県大会で延長の末敗れた久留米商業と対戦、雪辱を期します。

六月五日、福岡工業との定期戦を予定しています。今年是小倉工グラウンドで行いますので、皆さんの応援をお待ちしています。

◆陸上部

中村達志先生が再赴任

し、島元清治先生とコンビを組んで指導にあたります。二十四年連続インターハイ出場に向けて練習に励んでいます。

◆空手道部

三月に行われた全国大会に出場し、強豪京都嵯峨野高と対戦し惜敗しましたが、十分な手応えを感じています。今年には優秀な新人が入部しましたので、今後の活躍が期待されます。

二六回北九州地区選手権大会
少年男子組手
一位 島 拓朗(工化二年)

◆バスケットボール部

九州大会北部ブロック予選優勝(十二年ぶり)県大会出場決定。上位入賞を目指します。

◆ラグビー部

昨年の県大会に続き、今年も連続出場を目指しています。

◆ハンドボール部

倉工OBを顧問に迎えて強化練習に励んでいます。県大会出場も間近だと期待しています。

◆ソフトテニス部

日高 一朗(機械二年)
土屋 博基(機械二年)
九州大会北部ブロックインターハイ北部ブロック県大会へ

その他の運動部も県大会を目指して練習に励んでいます。



学校だより

土谷 幸司さん

(平十六年電子機械卒)
株豊田自動織機

【機械組立部門】
愛知県職業能力開発協会
会長賞受賞

技能五輪を目指しています。

◆県知事賞受賞

「青少年
アンビシヤス運動」

平成十三年より母校で取り組んでいるサタデースマイルひろば事業(ものづくり・スポーツ教室)の活動が評価される。参加九四〇団体中八団体が受賞

教職員の異動

【退職】

▽江角智恵子(工業化学)
▽楠田 健一(事務)

【転出】

▽増田 健一(英語)
北九州高校へ

【転入】

▽永岡 靖徳(保健体育)
中間高校へ

【再任用】

▽佐藤 博(電気)
香椎工業高校へ

【再任用】

▽須山 喜胤(電子機械)
嘉穂総合高校へ

【再任用】

▽仰木 正代(家庭)
筑豊高校へ

【再任用】

▽佐々木裕一郎(電子機械)
菊田工業高校へ

【再任用】

▽平山 勝(電子機械)
八幡工業高校へ

【再任用】

▽井川めぐみ(事務)
門司商業高校へ

【再任用】

▽松田 杉恵(英語)
中間高校より

◆北辰会報編集委員紹介

このたび、私たち八人は事務局とともに北辰会報編集にたずさわることになりました。

長野正景北辰会会長は、就任に際し「北辰会報の定期発行。北辰会活動や母校の状況などの報告内容の充実をはかる」ことを述べています。

その主旨に基づき、新に加わったメンバーは教職員関係三人、同窓会関係三人であり、それぞれの持ち分での働きを求められていると思います。

私たちは会報編集には慣れていませんが、これから事務局との話し合いを持ちながら協力しあい、会報の定期発行や報告内容の充実など、ご期待に添えるよう努めていきたいと思っています。

また同窓会活動や母校の状況への関心を持っていただけるとの紙面作りを心がけていこうと思っておりますので、同窓会の皆様にはご指導・鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



▽今津 光義さん
(昭二十九年機械卒)
二十九年会報編集委員長



▽江角智恵子さん
(昭三十八年工化卒)
北辰会副会長
教育振興基金副理事長



▽中村 達志さん
小倉聾学校より
筑豊工業高校より



▽植田 健一さん
北九州高校より



▽牟田 功二さん
(昭六十一年電気卒)
ラグビー部顧問
昨年十六年ぶりに県大会出場



▽福来 智昭さん
(平十年電子卒)
創立百周年インターネットサポート隊
当時の学校ホームページ作成者



▽坂田 智之さん
(昭三十六年機械卒)
北辰会事務局長



▽横井 睦子さん
北辰会事務局

全国高等学校空手道選抜大会に出場して

顧問 堀田 義高

全国高等学校空手道選抜大会が三月二十八日(月)・二十九日(火)・三十日(水)、福岡国際センターで開催され、団体組手で九年ぶり四回目の出場を果たしましたので、大会の結果を報告いたします。

試合は二回戦からの出場でした。相手校は一回戦、学法福岡高校を破って勝ち上がった近畿地区代表の京都の嵯峨野高校でした。嵯峨野高校は一月に岡山で開催された桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大

会において第三位となった強豪校でありました。勝負はやってみなければ分からない、「必ず勝つ」と生徒たちは試合に臨みました。相手は技術的には本校より勝っていました。気迫では本校の方が勝っていました。四番手の副将戦を終えて、一勝二敗一分け、本数十四対十四の五分で大将戦まで持ち込みました。大将戦で勝てば、本校の内容勝ちでした。大将は気迫で勝り、押し切りましたが、惜しくも競い負けました。一

勝三敗一分けで試合は負けましたが、選手たちも私も十分に全国大会で戦える手応えを感じました。応援に来ていた空手道部のOBたちも興奮してすぐに選手たちの方に集まって来ました。皆でインターハイ出場と上位入賞を目指して頑張ろうと気合を入れられました。生徒たちは、本大会で大きな自信を得たと思います。必ず、今年インターハイ出場を果たし、全国大会の舞台で「倉工健児ここにあり」と大暴れしてくれませんかと思いをこめてお話ししました。大会出場



に際しまして、同窓会よりご祝儀をいただき誠にありがとうございました。また、体育後援会長の徳本先輩をはじめ、諸先輩方の応援ありがとうございました。